《福島県鳥獣被害対策市町村リーダー育成事業に関して、過去にあった質問》

- 働く場所に住んでいる方が好ましいでしょうか？子供がいるので引っ越しが難しくてもリーダーになれますか？
  →（福島県）市町村リーダーは基本的には週５日のフルタイム勤務を想定しております。また、状況によっては緊急出動をする場合もある（令和２年度はクマの出没も多かったため、土日出勤等もありました）ため、当該市町村に居住していただくことが望ましいのですが、やむを得ない事由等がある場合は配置希望市町村へご相談ください。

- 遠方に住んでいるのですが、候補者になるには現地（福島県）へ行く必要がありますか？
  →（福島県）可能な限り当県へ来訪いただき、配置を希望する市町村や当県での鳥獣被害対策を見聞していただきたいと思います。なお、本事業による市町村専門職員の候補者になると、居住地から当県への移動に要する旅費、滞在中の宿泊費、研修中の給与等が支払われます。また、令和２年度については新型コロナの感染拡大防止のため、来県までの間に PCR 検査を受けていただきますが、その際の費用も当事業で負担しておりますので、来県にあたっての費用は気にせずにいらしていただけます。

- 市町村リーダーが役場職員として正式に採用された際に、異動はありますか？
  →（福島県）当県の市町村リーダーおよび市町村リーダーに準ずる職務を行う方々の中で、正規職員として配置されている方は２名います。この２名については正規職員に登用後の異動はありませんが、詳細は各市町村にご相談ください。

- 来年度の市町村リーダーを募集している市町村はどれくらいありますか？
  →（福島県）令和３年度以降の配置を希望している市町村は７市町村です。浜通り地方の浪江町（令和３年４月～）、中通り地方の白河市（令和３年４月～）小野町（令和３年度途中又は令和４年４月～）、会津地方の只見町（令和３年４月～）、西会津町、南会津町は２人目を今後募集する見込みです。北塩原村は令和２年度から配置を希望しています。最新の情報については、専用サイト（URL：https://www.ctv-leader.org/）を参照ください。

- 市町村リーダー育成モデル事業による支援は２年間とのことですが、３年目以降の雇用はどうなりますか？
  →（西会津町）令和元年度で２年間が経過しましたが、今後も継続して雇用する意向です。これまでの活動を考えると必ず必要な人材ですので、引き続き活躍してもらえ

る仕組みを考えています。今のところは一年更新にはなりますが会計年度職員としての雇用を検討しています。他の市町村では、正規職員としているところもありますが、鳥獣被害対策の専門職員が異動するのは困るので、異動がない雇用となるように検討しています。
→（福島県）本事業の配置支援に関する活動経費の市町村への補助は、1 年目は 250 万円、2 年目は 200 万円を上限とし、補助期間は 2 年間で終了します。配置後の高度化研修については 3 年間支援しています。3 年目以降の雇用については、南会津町のように臨時職員から正職員への登用している場合もあれば、喜多方市のように会計年度職員での継続的な雇用をしている場合もあります。

- 市町村ごとの雇用形態の違いも教えてください。
  →（福島県）現在、市町村専門職員を雇用しているのは以下の 8 市町村です。
  ・柳津町、猪苗代町、磐梯町：地域おこし協力隊
  ・田村市：田村市有害鳥獣被害対策協議会職員
  ・矢祭町：嘱託職員
  ・南会津町：正規職員（平成 31 年度に臨時職員から登用）
  ・西会津町：委託職員（1 年ごとの契約・有害鳥獣対策専門員として雇用）
  ・喜多方市：会計年度任用職員

- 市町村リーダーの募集情報はどこで確認できますか？
  →（事務局）専用サイト（URL：https://www.ctv-leader.org/）で募集情報の詳細が見られますのでご確認ください。

- 市町村リーダーになるために必要なスキルはありますか？
  →（西会津町）野生動物に対する知識のある方が好ましいです。しかし、この仕事をやっていく上では、初めからすべて知っている必要はありません。配置前後の知識や技術を習得するための支援もあります。体力もある方が好ましいですが、何よりもやる気と誠実さがあれば大丈夫かと思います。
  →（喜多方市）スタートの時点で完璧でなくてもいいと思います。日々わからないことが多いですが、それを一つ一つ勉強していけば大丈夫と思いますが、思った以上に人と関わることが多いです。住民の方だけでなく役場や県の方との関わりが多いです。鳥獣害対策を行う上で、担当している課だけでは解決できないことが多くあります。そのような意味では、たくさんの方と関わっていきますので、人とコミュニケーションをとることが大事だと思います。

- 候補者にならないと市町村リーダーにはなれませんか？

→（福島県）候補者にならなくても、市町村等が行っている求人情報に直接応募することでリーダーにはなることは可能です。当県が実施している候補者育成制度は実際に鳥獣被害対策を事前に研修していただく制度となっております。現場経験が少ないことが不安要素である方に対しては、是非とも候補者育成制度をご活用いただければと思います。

- 現在、別の所で働いていますが、退職してから再就職するようになりますか？（候補者～市町村リーダーになるための流れ）
  →（福島県）現在働いている方でも、働きながら候補者育成制度を活用していただくことができます。学生の方でも、大型連休や長期休暇を使って来県していただくことができます。様々な立場に合わせて研修を組み立てていきますので、事前にご相談ください。

- 候補者になってもマッチングに至らない場合もありますか？
  →（福島県）候補者になっても双方の希望や条件の相違等によりマッチングに至らないこともあります。候補者の就業支援は、必ずしも就業を確約するものではありません。鳥獣被害対策を成功させるために継続的な活動をしてほしいので、候補者と市町村の認識に食い違いがないようにするための取組になります。

- 東京会場からの質問：シカ・イノシシ・クマ等捕獲された動物は食肉として扱われていますか？
  →（福島県）東日本大震災に伴う原発事故の影響で、食品衛生法上の基準値を超える放射性物質が検出されたことから、原子力災害対策特別措置法に基づき、多くの市町村で国から摂取制限や出荷制限、県から自家消費自粛等が指示されていますので、ジビエ利用は難しい状況です。

- 花火での追い払いについて、全て同じ花火ですか？使い分けはしていますか？
  →（西会津町）3 連発の同じ花火を使っています。追い払いを行う動物によって、打ち方を変えたりすることはありますが、同じ花火です。集落の方も町と同じものを使っていると思います。西会津町では各個人・集落が使用する場合はそれぞれで購入してもらっています。
  →（司会者）西会津町以外の市町村については、市町村で購入したものを集落に配布している市町村がほとんどです。不足分を集落や個人で購入する場合もあります。

以上